

LHDプラズマ実験予定表

作成/更新者

田村直樹

実験日	本日の実験テーマ																																																						
2024年 6月13日(木)	プラズマ閉じ込めと周辺中性粒子との関係、デタッチメントのフィードバック制御、Li粒導入による壁コンディショニング																																																						
実験番号	実験セッショングループ						セッションコーディネーター																																																
1380	MAP						小林政弘[2169] / 本島巖[2142]																																																
実験スケジュール	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22																																								
		励磁	[MAP]								減磁																																												
実験内容、条件															入射ガス種																																								
<p>[MAP](10:30 ~ 16:45) ECH, NBI 10:30-11:30 プラズマ閉じ込めと周辺中性粒子との関係 (本島) 11:30-11:45 【磁場配位変更: 3.55m, 2.7887T -> 3.65m, 2.7123T】 11:45-13:25 デタッチメントのフィードバック制御 (増崎) 13:25-13:40 【磁場配位変更: 3.65m, 2.7123T -> 3.60m, 2.75T, 実験シーケンス変更: 3分 -> 3分30秒】 13:40-15:40 Li粒導入による壁コンディショニング (R. Lunsford(PPPL), 増崎) ※NBI較正(3ショット)は13:40-15:40の間に実施。 15:40-15:55 【磁場配位変更: 3.60m, 2.75T -> 3.55m, 2.7887T, 実験シーケンス変更: 3分30秒 -> 3分】 15:55-16:45 プラズマ閉じ込めと周辺中性粒子との関係 (本島)</p> <p>【 実験磁場: 3.55 m, 2.7887 Tに整定する前に、3.6 m, 2.75 Tの締付励磁を行うこと 】</p> <p>シーケンス:3分, 3分30秒</p> <table><thead><tr><th>#</th><th>Option</th><th>Polarity</th><th>Rax(m)</th><th>Bax(T)</th><th>gamma</th><th>Bq(%)</th><th>Subcooled</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td></td><td>CW</td><td>3.55</td><td>2.7887</td><td>1.2538</td><td>100.0</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td>CW</td><td>3.65</td><td>2.7123</td><td>1.2538</td><td>100.0</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td>CW</td><td>3.6</td><td>2.75</td><td>1.2538</td><td>100.0</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td>CW</td><td>3.55</td><td>2.7887</td><td>1.2538</td><td>100.0</td><td></td></tr></tbody></table>															#	Option	Polarity	Rax(m)	Bax(T)	gamma	Bq(%)	Subcooled	1		CW	3.55	2.7887	1.2538	100.0		2		CW	3.65	2.7123	1.2538	100.0		3		CW	3.6	2.75	1.2538	100.0		4		CW	3.55	2.7887	1.2538	100.0		H2,N2,Ne,Ar
#	Option	Polarity	Rax(m)	Bax(T)	gamma	Bq(%)	Subcooled																																																
1		CW	3.55	2.7887	1.2538	100.0																																																	
2		CW	3.65	2.7123	1.2538	100.0																																																	
3		CW	3.6	2.75	1.2538	100.0																																																	
4		CW	3.55	2.7887	1.2538	100.0																																																	
コンディショニング																																																							
前夜GD: なし, 当夜GD: He, Divクライオ: あり																																																							
特記事項																																																							
<p>磁性体の持込規制(持込書類による確認) 【 最初の実験磁場立ち上げにおいて追加作業あり。上記の実験内容、条件を参照のこと。追加理由はRax=3.65 m, Bax=2.7123 Tへの移行時間短縮のため。 】</p> <p>(MAP)※ダイバータクライオポンプは 11:30までoff (80 K)、13:30からon (20 K) になるよう冷却開始時間を調整すること。 NBI5秒入射, ガスパフフィードバック制御, LID(磁気島キャンセル) IPD (Li), CXS, CTS, VUV/EUV 分光器, ダイバータ可視分光器, フィルターカメラ, ボロメータ, ダイバータプローブ, IRカメラ</p> <p>【LHD実験実施時注意事項】 (id:724) 不純物: ガスパフ (id:728) 磁場: 磁気軸位置3.55 m以上から3.6 m未満まで (id:731) 磁場: LIDコイル使用 (id:733) 高Ip実験(まとめ) (id:745) ECH: CTS計測 (id:762) 不純物: パウダードロップ</p>																																																							

実験及び緊急時の体制

<実験体制>

<緊急時の体制>

	自衛消防隊 地区隊隊長	増崎貴	[2168]
実験責任者	自衛消防隊 地区隊隊長代理	増崎貴/横田光弘	[2168/2587]
コーディネーター#1	記録確認	小林政弘	[2169]
実験実施者			
ECH	制御室連絡員 A	西浦正樹	[2184]
コーディネーター#2(NBI補助)	制御室連絡員 B	本島徹	[2142]
ガスパフ・真空・計測シャッター	電源系統把握	A/B	
LID電源		河合将照/長原一樹	[2107/2479]
コイル電源		田上裕之	[2095]
低温		大場恒揮	[2093]
中央制御		前野博也	[2098]
実験LAN		中村修	[2551]
データ処理		大砂真樹	[2303]
放電洗浄		増崎貴/時谷政行	[2168/2143]
[A]	ガスパフ・真空・計測シャッター	長原一樹/河合将照	[2479/2107]
[B]	ガスパフ・真空・計測シャッター	中川翔/千村大樹	[2103/2111]
[C]	ガスパフ・真空・計測シャッター	加藤ひろみ/柳原悠人	[2108/2105]

非常時の連絡先

自衛消防隊 統括管理者:	林浩己[2100]	(代行者) 榎原悟[2235]
現場対応班長:	鈴木直之[2109]	(副) 渋谷真之[2294]
LHD部門長:	坂本隆一[2148]	
放射線取扱主任者	佐瀬卓也[2083]	
放射線管理室長	小淵隆[2302]	(代理) 田中将裕[2087]
防災センター:	[1111]	
制御室:	[2442,2445]	
危機管理指揮本部:	専用無線[CH11]	専用電話ポリコム[1002]